

# ★夜間学校★釜ヶ崎(仮称) 第17回

## 1/22

今夜7時より『喜望の家』階にて  
テーマ「越冬と病気」その2

### 勇気で行旅病死の現実をどうするか。

昨年12月18日にち、越冬と病気をテーマに話し合いましたが、今回はその2回目です。

越冬斗争が継続されている現在も100人150人の仲間が青カンをしています。

その中には、金があっても飲むことと打つことに使ってしまう、ドヤとまら

がえて泊まりにくる不心得な仲間もいます。大半は仕事にアフレした仲間、そして高令、障害、病弱の仲間達です。

特に、これまでかなりの仲間が入院しました。それでも約30人の病気の仲間が青カンをしているというのが現状です。

資本主や社会の特徴は、労力商品としてのみ、人の生存が許されている

と言うことあり、その純化された表現が単に季節としての冬ではなく、資本の攻撃の季節的な表現としての「冬」の釜ヶ崎に見事なまでにあらわされています。

10年間バリバリ働いてきても、た、た、一回、わがが2、3mの所から落ちた結果、働けなくな、たりする例は決してすくなくありません。

黙、て野たれ死ぬのか、それともこの現実とどうするか、今それが問われています。

### 夜間学校次回の予定

1/29日、日雇労働について

1/最後の夜間学校は、俺達が毎日

やっている日雇の仕事について話し合います。

### 結核検診を受けよう。

釜ヶ崎では10人に1人が結核にかかっていると言われている。

全国的には結核患者が減少している中で、逆に釜ヶ崎では増える傾向にある。

その原因としてあるのは、日雇労働という体の消耗の激しい仕事の割りには

栄養不良の仲間が多いことと、飯場などの不衛生な感染源が放置されたまま

であること、そして、治療が十分に受けられないことである。

従って、釜ヶ崎から結核をなくす為にはこれらの生み出されてくる「元凶」を断たなければならぬが、同時にノ

ノ人の自覚も必要だ。特に次の自覚症状のある仲間は是非検診を受けよう。

- (一) だるい感じ。
  - (二) せきがよくなる。
  - (三) ねあせをかす。
  - (四) 微熱がつかく。
- \*センター北側(駅側)にナイトゲン車があります。

### 検診日27日(火)10時、12時



# (仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

## 第16回報告テーマ「趣味について」 1・15

### やはり仕事が一

### と同時に心に支えを

前回は、いつも固い話ばかり  
しているの、少しリラックス  
しているのとテーマを「趣味に  
ついて」として集まりました。

最近、世間では「ゆとりある  
生活を」と余暇に趣味をいかし  
大いに楽しんでいる人たちがい  
ます。しかしここ釜ヶ崎では、  
ゆとりと趣味を生かすどころで  
はない状況が続いています。前  
回もまさにその通り医療相談か  
ら始まりました。

ゆとりある生活は  
どこにある

労災にあった仲間からの相談  
でした。一応会社は労災を認め  
ていたのですが、あとうやむや  
にされそうになった。この対策です。  
「ケガと弁当は自分もち」とよ  
くいわれますが、今は法的に労  
働者は保護されています。しか

し事故の時にちやんと会社の責  
任を認させておかないとつけ込  
まれてうやむやにされかねませ  
ん。今回はその辺がうまくなせ  
れていたので大丈夫でしょう。

弱みにつけ込ませない  
知恵と備えを

仕事以外の話題では、どうし  
てもからだのことが出てきます。  
元気が病気が。病気で入院を経  
験した人に多く出あいます。「  
がんばって治した人」から「入  
退院をくり返してへる人」まで。  
健康を保つために本人の努力も  
大切でしょう。酒の節度も大き  
なことです。「飲んで飲まれ  
る」とは皆んなが感じている  
ことです。

趣味をみつけて生かすことは、  
心に支えができ、仕事に励むこ  
ともなります。

### 仮称釜ヶ崎夜間学校とは

釜ヶ崎で日雇労働者として生  
活しているなかで、誰もがいつ  
かはぶつかる問題は、一人の問  
題であると同時に皆の問題でも  
あります。仕事や病気などの問  
題を皆で解決していくために、  
皆が対等の関係で、互いの経験  
と知識を出しあい、互いに学び  
合う自由な場が夜間学校です。  
是非多くの仲間が参加して下さい。  
「みんながつくるみんなのひろば」  
「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」  
運営委員会準備会

釜ヶ崎・喜望の家内  
電話リ0六1六四七一三九四六  
(毎週木曜日夜七時から九時の間)

